



平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス

コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員グループ管理担当氏名) 土井 義人

TEL 03-6403-5710

四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日

配当支払開始予定日

平成27年5月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	21,333	21.7	2,703	34.2	2,747	32.2	1,292	8.9
26年8月期第2四半期	17,524	7.1	2,014	△ 8.1	2,079	△ 7.9	1,186	△ 42.3

(注) 包括利益 27年8月期第2四半期 1,692 百万円 (33.0%) 26年8月期第2四半期 1,272 百万円 (△39.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	68.95	—
26年8月期第2四半期	62.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第2四半期	27,036	13,544	48.1
26年8月期	25,926	13,195	48.5

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 12,995 百万円 26年8月期 12,574 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	25.00	—	30.00	55.00
27年8月期	—	15.00	—	—	—
27年8月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,685	15.8	4,946	15.7	5,066	15.9	2,668	10.1	138.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したKOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE.LTD、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE.LTD、K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE.LTD 他9社の計12社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

③ 会計上の見積りの変更 無

④ 修正再表示 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年8月期2Q	19,200,000株	26年8月期	19,200,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年8月期2Q	745,360株	26年8月期	245,280株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期2Q	18,454,640株	26年8月期2Q	18,954,802株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済において、原油安の進行が、円安基調及び輸出の堅調さと相俟って企業収益改善の継続に貢献すると同時に、消費増税の延期及び賃金上昇と相俟って個人消費の回復にも貢献しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

【カラオケ】

カラオケ店の大手チェーンへの集約が進み、顧客獲得競争が一層激しくなりつつあるなか、店舗網の拡充により積極的に顧客を獲得していくことと、新しい楽しみ方と新しいサービスを考案し提供していくことにより市場の活性化を図っていくことが、重要であると考えます。

「カラオケ本舗まねきねこ」を中心に積極的に店舗展開を行うとともに、「すきっと会員」とワンカラの「シンガーズクラブ会員」の拡大を図ることにより顧客の固定客化も進めております。

全店導入後1年近く経過する自社開発の「すきっと」は、その機能に関係各方面から注目され、コンテンツホルダーとのコラボレーション企画などが相次ぎ行われるようになり、カラオケルームでの新しい楽しみ方の幅が広がりつつあります。

当第2四半期連結累計期間末の国内店舗数は、前連結会計年度末比9店舗増加(新規出店15店舗)し375店舗となりました。リニューアルは18店舗行いました。海外店舗数は、16店舗(シンガポール11店舗、韓国5店舗)となっております。

この結果、カラオケセグメントの売上高は117億12百万円(前年同期比23.2%増)、セグメント利益は9億85百万円(前年同期比37.1%増)となりました。

【カーブス】

急速に進展する高齢化社会において、一人一人が正しい運動方法を身につけ習慣づけていくこと、そしてそのような仲間を既存の会員と一緒に増やしていくこと、このような着実な活動を推し進めていくことにより未病率の改善や健康寿命の延伸に貢献していきたいと、事業の拡大に努めております。

そのために、より顧客視点に立った通いやすい店舗網を構築し、一つ一つのクラブを所属する会員にとって成果実感が溢れそしてそれを喜び合えるようなコミュニティに創り上げていくことを目指して、本部と加盟店が一体となって努めております。また、地域住民の健康維持施策や未病治療施策を企画する地方自治体の事業への参画にも取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間末の国内カーブス店舗数は、前連結会計年度末比59店舗増加し(増加率4.0%)し1,534店舗(内グループ直営店50店舗)に、会員数は9千人増加し(増加率1.3%)650千人となりました。

この結果、カーブスセグメントの売上高は86億96百万円(前年同期比22.7%増)、セグメント利益は20億51百万円(前年同期比36.8%増)となりました。

【温浴】

カラオケ事業で培った店舗営業力(接客サービス力)の発揮と、更なる省エネ化の実現により、一層の収益性の改善と業容の拡大に努めてまいります。カラオケ事業で培ってきた様々なノウハウ、特に社員教育面での人材育成システムを活用し、固定費削減手法を駆使して、温浴施設経営の再生に取り組んでおります。

この結果、温浴セグメントの売上高は7億66百万円(前年同期比2.8%減)、セグメント損失は63百万円(前年同期比47百万円損失額減少)となりました。

【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は1億57百万円(前年同期比13.7%増)、セグメント利益は69百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

以上により、当社グループ(当社及び連結子会社)の当第2四半期連結累計期間の売上高は213億33百万円(前年同期比21.7%増)、営業利益27億3百万円(同34.2%増)、経常利益27億47百万円(同32.2%増)、四半期純利益は12億92百万円(同8.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億10百万円増加し、270億36百万円（前連結会計年度末比4.3%増）となりました。

(流動資産)

流動資産は6億98百万円増加し105億11百万円（同比7.1%増）となりました。これは主に、現金及び預金が5億29百万円および受取手形及び売掛金が3億17百万円増加したことなどによるものです。

(固定資産)

有形固定資産は8億70百万円増加し110億26百万円（同比8.6%増）となりました。これは主に、建物及び構築物が5億36百万円および車両運搬具及び工具器具備品が3億31百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は10億61百万円増加し22億47百万円（同比89.6%増）となりました。これは主に、のれんが11億49百万円増加したことなどによるものです。

投資その他の資産は15億20百万円減少し32億50百万円（同比31.9%減）となりました。これは主に、関係会社株式が16億89百万円減少した一方で敷金及び保証金が2億60百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は4億11百万円増加し165億24百万円（同比2.6%増）となりました。

(流動負債)

流動負債は3億23百万円増加し87億1百万円（同比3.9%増）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が60百万円および1年以内返済予定の長期借入金が53百万円増加したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は4億37百万円増加し47億90百万円（同比10.1%増）となりました。これは主に、資産除去債務が1億75百万円および長期借入金が1億45百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は7億60百万円増加し134億91百万円（同比6.0%増）となりました。

(純資産)

純資産は3億49百万円増加し135億44百万円（同比2.6%増）となりました。これは主に、利益剰余金が10億2百万円増加した一方で自己株式が9億円減少したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して5億25百万円の増加（前年同期は17億円の減少）となり、56億94百万円（前年同期は41億60百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、30億19百万円の資金増加となりました。前年同期は9億40百万円の資金増加であり、20億79百万円資金増加額が増えております。これは主に、税金等調整前四半期純利益が4億87百万円および減価償却費が2億22百万円増えた一方で、たな卸資産の減少額が4億83百万円減ったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、14億36百万円の資金減少となりました。前年同期は44億89百万円の資金減少であり、30億52百万円資金減少額が減っております。これは主に、有形固定資産の取得による支出が18億53百万円および非連結子会社への出資による支出が15億18百万円減ったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、11億91百万円の資金減少となりました。前年同期は18億48百万円の資金増加であり、30億40百万円資金減少額が増えております。これは主に、長期借入れによる収入が19億円減った一方で自己株式の取得による支出が9億円増えたことなどによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用）

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,207,439	5,737,381
受取手形及び売掛金	1,825,313	2,142,315
商品	804,419	747,319
原材料及び貯蔵品	146,023	186,322
繰延税金資産	286,638	264,657
その他	1,557,830	1,453,442
貸倒引当金	△14,030	△19,757
流動資産合計	9,813,634	10,511,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,587,032	7,123,204
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,593,806	1,925,173
土地	1,965,917	1,965,917
リース資産(純額)	4,816	3,820
建設仮勘定	4,845	8,530
有形固定資産合計	10,156,419	11,026,646
無形固定資産		
のれん	21,186	1,171,050
ソフトウェア	1,110,758	1,070,094
その他	53,640	6,379
無形固定資産合計	1,185,585	2,247,524
投資その他の資産		
投資有価証券	480,872	515,442
関係会社株式	1,720,674	31,537
長期貸付金	495,784	423,318
長期前払費用	92,840	63,204
敷金及び保証金	1,695,051	1,955,718
繰延税金資産	261,723	218,703
その他	38,721	56,535
貸倒引当金	△15,064	△14,067
投資その他の資産合計	4,770,604	3,250,392
固定資産合計	16,112,609	16,524,563
資産合計	25,926,243	27,036,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,385,906	1,446,083
1年内返済予定の長期借入金	1,826,512	1,879,512
リース債務	2,092	2,092
未払金	996,410	776,343
未払費用	867,825	815,362
未払法人税等	1,066,474	1,026,487
賞与引当金	211,498	220,386
預り金	1,364,073	1,375,519
その他	657,634	1,159,659
流動負債合計	8,378,428	8,701,447
固定負債		
長期借入金	3,403,836	3,549,280
リース債務	2,964	1,918
繰延税金負債	249,015	368,560
資産除去債務	504,129	679,841
その他	192,758	190,883
固定負債合計	4,352,704	4,790,483
負債合計	12,731,133	13,491,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	11,944,096	12,946,646
自己株式	△300,139	△1,200,797
株主資本合計	12,621,157	12,723,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,905	30,613
為替換算調整勘定	△52,660	241,797
その他の包括利益累計額合計	△46,755	272,410
少数株主持分	620,708	548,853
純資産合計	13,195,110	13,544,314
負債純資産合計	25,926,243	27,036,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	17,524,328	21,333,640
売上原価	12,759,244	15,499,098
売上総利益	4,765,083	5,834,542
販売費及び一般管理費	2,750,658	3,131,217
営業利益	2,014,424	2,703,325
営業外収益		
受取利息	7,788	8,665
受取配当金	44	3,724
為替差益	13,054	13,956
店舗移転補償金	26,476	—
その他	31,548	50,136
営業外収益合計	78,912	76,483
営業外費用		
支払利息	6,913	22,605
その他	7,387	9,339
営業外費用合計	14,300	31,944
経常利益	2,079,036	2,747,864
特別利益		
固定資産売却益	587	6,285
特別利益合計	587	6,285
特別損失		
固定資産除却損	28,241	98,756
減損損失	41,326	75,833
店舗閉鎖損失	—	82,186
特別損失合計	69,568	256,776
税金等調整前四半期純利益	2,010,055	2,497,372
法人税、住民税及び事業税	737,057	997,741
法人税等調整額	△3,134	79,200
法人税等合計	733,923	1,076,942
少数株主損益調整前四半期純利益	1,276,132	1,420,430
少数株主利益	89,896	128,145
四半期純利益	1,186,236	1,292,284

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,276,132	1,420,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,977	30,613
為替換算調整勘定	△12,732	241,797
その他の包括利益合計	△3,755	272,410
四半期包括利益	1,272,376	1,692,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,182,480	1,564,695
少数株主に係る四半期包括利益	89,896	128,145

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,010,055	2,497,372
減価償却費	847,022	1,069,889
減損損失	41,326	75,833
のれん償却額	80,147	125,667
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,981	8,888
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,204	4,729
退職給付引当金の増減額(△は減少)	358	1,484
受取利息及び受取配当金	△7,833	△12,390
支払利息	6,913	22,605
有形固定資産売却損益(△は益)	△587	△6,285
固定資産除却損	28,241	98,756
売上債権の増減額(△は増加)	△143,953	△314,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	△399,031	84,083
仕入債務の増減額(△は減少)	△128,773	△60,830
その他	△394,165	448,757
小計	1,935,944	4,044,069
利息及び配当金の受取額	7,836	12,390
利息の支払額	△7,898	△22,605
法人税等の支払額	△995,782	△1,013,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	940,100	3,019,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,115,558	△1,261,965
有形固定資産の売却による収入	588	7,744
無形固定資産の取得による支出	△90,298	△85,690
投資有価証券の取得による支出	△114,750	—
投資有価証券の売却による収入	370,085	484
非連結子会社株式への出資による支出	△1,550,130	△31,537
敷金及び保証金の差入による支出	△81,989	△115,960
敷金及び保証金の回収による収入	67,464	40,905
貸付けによる支出	—	△2,503
貸付金の回収による収入	48,184	15,681
定期預金の増減額(△は増加)	△1,202	△1,197
その他	△21,939	△2,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,489,544	△1,436,890

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,100,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△997,627	△1,001,556
リース債務の返済による支出	△11,651	△1,046
自己株式の取得による支出	—	△900,658
配当金の支払額	△236,935	△287,995
少数株主への配当金の支払額	△5,000	△200,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,848,786	△1,191,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	424	△10,114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,700,233	381,636
現金及び現金同等物の期首残高	5,860,517	5,169,807
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	143,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,160,283	5,694,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	9,507,965	7,089,314	788,606	138,442	17,524,328	17,524,328	—	17,524,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,507,965	7,089,314	788,606	138,442	17,524,328	17,524,328	—	17,524,328
セグメント利益又は セグメント損失(△)	718,740	1,499,819	△110,740	64,049	2,171,868	2,171,868	△157,444	2,014,424

(注) 1. セグメント利益の調整額△157,444千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ」セグメントにおいて、閉店予定店舗について41,326千円の減損損失(特別損失)を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	11,712,288	8,696,998	766,878	157,475	21,333,640	21,333,640	—	21,333,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,712,288	8,696,998	766,878	157,475	21,333,640	21,333,640	—	21,333,640
セグメント利益又は セグメント損失(△)	985,270	2,051,796	△63,371	69,832	3,043,528	3,043,528	△340,203	2,703,325

(注) 1. セグメント利益の調整額△340,203千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間において認識した重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、「カラオケ」セグメントにおいて、KOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE. LTD.、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE. LTD.、K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE. LTD.、他9社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、1,143,210千円であります。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社子会社である株式会社コシダカは、平成27年2月26日開催の取締役会において、株式会社ムーンの株式を取得して子会社化することを決議し、平成27年4月1日付で株式を取得いたしました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ムーン
事業の内容 カラオケボックスの運営他

②企業結合を行った理由

当社の事業セグメントは、カラオケ事業、カーブス事業、温浴事業、不動産管理事業で構成され、その主要なセグメントであるカラオケ事業においては、「カラオケ本舗まねきねこ」並びに「ひとりカラオケ専門店ワンカラ」を日本国内で直営展開するとともに、韓国及びシンガポールへの海外展開も行っております。また最近におきましては、東南アジアを中心とした海外展開のみならず、国内におきましても積極的な出店を行っており、特に首都圏を中心とした地域への出店に注力してまいりました。

一方、株式会社ムーンは当社カラオケ事業の重点出店地区である神奈川県を中心に、店舗（ネットカフェ店舗を含む。）を直営展開するチェーン店であり地域に特化した営業展開を行っておりますが、これまで培ってきた地域密着型の営業姿勢に当社グループが有するノウハウを加えることによって、より強固な経営基盤の確立と相乗効果による収益性の向上が期待できるためであります。

③企業結合日

平成27年4月1日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

株式会社ムーン

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

株式会社コシダカが現金を対価として株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金	982,742千円
取得に直接要する費用	アドバイザー費用等	5,042千円(概算)
取得原価		987,784千円(概算)

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。